

令和6年度 第1回医療系フォーラム実験小委員会 議事概要

- I. 日 時： 令和6年6月27日（木） 15:00～16:30
- II. 場 所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会
- II. 出席者： 片岡主査、神原委員、原島委員、山元委員、中山委員、小原委員、二瓶委員、川島委員
井端事務局長、森下主幹

III. 資料

- ① 令和5年（2023年）度事業報告書
- ② 令和6年（2023年）度事業計画書
- ③ 「ICT活用による多職種連携授業の実践紹介ビデオ」に関する視聴アンケート（案）

IV. 議事概要

1. 令和4年（2022年）度の事業報告について

資料①を用いて以下のように事務局から報告された

- (1) 令和5年（2023年）度の医療系フォーラム型実験小委員会では、令和4年度改訂の医学教育モデル・コア・カリキュラムに多職種連携教育の実践が明示されたことを受けて、これまで6年間に亘り研究・実験してきた「ICTを活用した分野横断による多職種連携教育の実験」を整理し、授業運営及び導入に向けたノウハウをビデオ化して、医療系をはじめ栄養系の大学・学部公表するとともに、来年度以降の研究についても検討を行った。
- (2) 多職種連携教育を支援するビデオの作成・公表の方針は、多職種の分野を持たない多くの医療系大学が単独で多職種連携授業を行うのは難しいことから、この解決に向けてICTを活用して複数の大学と連携する「ICT活用による分野横断型遠隔授業」について6年間の研究と実験を行った結果を踏まえて、多くの医療系大学が取組む一つの方法として、参考にさせていただくことを目的に6年間の研究と実験のノウハウを提供することにした。
- (3) 内容については、ネット上で学生が議論する仕組み、異なる分野の学生が意見交換し、自分分野を他分野に説明する仕組み、それを通じての気づきの紹介、そのためのプラットフォームの構築、ICTを活用してネット上で主体的に学ばせるための学生ガイド、ファシリテーションの工夫、振り返りシートの工夫、授業運営のノウハウなどを5分から10分以内でとりまとめて紹介することにし、以下の構成で各委員が分担して作成した。
 0. 導入部分(はじめに)
 1. 授業準備
 2. 分野横断型授業のプラットフォームとICT学修システム
 3. 授業運営のポイントと工夫
 4. アイスブレイキングの工夫
 5. ファシリテーションの基礎と工夫
 6. 分野横断型授業の成果と課題
- (4) ビデオの制作は、10名の各委員が分担して実施し、10月の第4回委員会で視聴し、表現やタイトル等の修正、を行ったうえで11月末に本協会のホームページを通じてYouTubeで掲載した。

ICT 活用による「各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践」のご紹介

公益社団法人私立大学情報教育協会
医療系分野フォーラム実験小委員会

本協会では学部・大学を越えてネット上で多分野の知識を組み合わせることにより、新しい知の創造を訓練する授業モデルの試行研究に取り組んでおりますが、その事業の一環として、医療系分野フォーラム実験小委員会ではICTを活用して複数の大学が連携する「ICT活用による分野横断型遠隔授業」について6年間研究と実験を行い、従来の大学教育を超えた新しい学びに向けた成果が認められました。

今回、医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムに「多職種連携能力」が取り上げられたことから「多職種連携教育」に取り組む一つの方法として参考にさせていただきたく、6年間の研究と実験のノウハウを「各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践」として映像化し、とりまとめましたのでご紹介します。

※ 映像は「0. はじめに」から順に通して視聴いただく他に、「1. ～6.」のタイトルをクリックして視聴いただくことも可能です。

分野横断型遠隔授業の実践

- 0. はじめに (2 : 13)
- 1. 授業準備 (7 : 45)
- 2. 授業運営のポイントと工夫 (4 : 45)
- 3. 分野横断型学修のプラットフォームと ICT 学修支援システム (5 : 08)
- 4. アイスブレイキングのポイント (6 : 26)
- 5. ファシリテーションの基礎と工夫 (10 : 00)
- 6. 分野横断型遠隔授業の成果と課題 (10 : 08)

(5) 大学への案内

令和5年11月29日に本協会加盟校の会員代表者に案内するとともに、医学部の大学には国・公・私立の67大学、歯学部には国・公・私立の22大学、薬学部には国・公・私立の41大学、看護系学部・学科には国・公・私立の20大学、社会福祉系学部・学科には国・公・私立の21大学、栄養系学部・学科には国・公・私立の8大学、合せて298大学の学部長・学科長宛に以下のように案内し、活用を呼びかけた。

令和5年11月29日

大学
会員代表者
〇〇 〇〇 先生

公益社団法人 私立大学情報教育協会
会 長 向 殿 政 男

ICT 活用による「各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践」のご案内

平素は本協会の事業にご協力をたまりお礼申し上げます。

さて、本協会では学部・大学を越えてネット上で多分野の知識を組み合わせることにより、新しい知の創造を訓練する授業モデルの試行研究に取り組んでおりますが、その事業の一環として、医療系分野フォーラム実験小委員会ではICT

Tを活用して複数の大学が連携する「ICT活用による分野横断型遠隔授業」について6年間研究と実験を行い、従来の大学教育を超えた新しい学びに向けた成果が認められました。

今回、医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムに「多職種連携能力」が取り上げられたことから「多職種連携教育」に取り組む一つの方法として参考にしていただきたく、6年間の研究と実験のノウハウを「各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践」としてとりまとめましたので以下ご案内いたします。

つきましては、貴学の関係教職員の方にご案内いただき積極的に活用いただけますと幸いです。

記

1. ご案内する映像

各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践

掲載サイト <http://www.juce.jp/medforum/experiment/>

(1) 対象分野について

医学・歯学・薬学・看護学・栄養学・社会福祉学の分野で6年間研究した成果と課題、授業のノウハウについてご紹介しております。

(2) ご紹介する内容について

ネット上で行う「多職種連携教育」の「授業の目標」、「進め方」、「学生ガイド」、「自己主導学修」、「プロブレムマップ」、「ポートフォリオ」などの概要と実際のノウハウを紹介しています。また、「問題発見・整理」、「課題設定」、「多分野グループによる課題解決」、「分野横断型学修を実施してわかったこと」、「学生アンケート」、「テキストマイニングの解析結果」、「分野横断型学修の成果と課題」などを具体的に紹介しております。

2. 学内周知について (お願い)

(1) 医学・歯学・薬学・看護学・栄養学・社会福祉学等の分野の学部長、学科長を始めとする貴学の関係教職員の方にご案内し周知いただきますようお願いいたします。

(2) 貴学のWebサイト等への情報掲載及び私情協サイトへのリンクをお願いいたします。

(5) 来年度の研究について

来年度は、本年度制作・公表した多職種連携教育を支援するビデオについて、医療系の大学にアンケート等で視聴状況を聞き出し、課題解決に向けたQ&Aを作成することにした。

2. 令和6年(2024年)度の事業計画について

資料②で令和6年(2024年)度の事業計画を確認し、昨年度配信した視聴状況をアンケートし、課題解決に向けたQ&Aを作成することにした。

3. 「ICT活用による多職種連携授業の実践紹介ビデオ」に関する視聴アンケート(案)について

資料③「ICT活用による多職種連携授業の実践紹介ビデオ」に関する視聴アンケート(案)について、検討を行った。

<主な意見>

- ・ アンケートでは、多職種連携授業を実施しているか、計画があるか、他大学との連携を計画しているか、なども聞いた方が良いのではないかと。
- ・ YouTubeの視聴をもっと増やすため、再度促してはどうか。
- ・ 学部の構成や、取組状況、理解の仕組みなど細かな設問を設けてはどうか。
- ・ 項目ごとにわかったかどうか設問で聞いてはどうか。

<検討結果>

- ・ YouTubeを視聴している数百名の方にアンケートを取る。再度促はしない。但し今回のアンケートで再度視聴して回答いただくことは問題ない。

- ・ 多職種連携教育の有無や、ニーズ、背景を聞くことは行わず、あくまで今回のビデオについて聞く目的にする。
- ・ 今回のビデオについてのアンケートであれば、現在の（案）が良い。但し各大学がどのような課題を持っているのかを知りたい。
- ・ このことは大学の教育方針に入ることなので、踏み込むことは難しいので、設問5. で記入していただくようにしたい。
- ・ 視聴した大学に視聴の理由・動機を聞くのはどうか。同期の聞くのは良いと思う。

<その他>

- ・ 現在の視聴状況としては、150位と思われる。
- ・ 大学に案内した内容が各大学でどこまで周知・徹底されているかが課題だが、設問2で交通整理しているので、あくまで見ていただいた方へのアンケートとして実施する。
- ・ 7月末にアンケートを送って締切りを9月上旬にする。その間にアンケート依頼を受けて再度視聴を促し、回答いただくようにする。
- ・ アンケートは書面を郵送で学長宛にお送りし、学内周知いただき、回答はWebでGoogleformでいただくようにする。
- ・ YouTubeの視聴状況は別途集計して報告する。
- ・ アンケートの修正（案）「視聴の動機」を作成して委員会に報告する。

4. 今後の予定について

- ・ アンケートの発送 7月末
- ・ アンケート改修 9月初旬
- ・ アンケート集計を踏まえた委員のQ&A構成、作成の役割分担 9月末（第2回委員会）
※アンケートはプラットフォームの構築、ICTを活用してネット上で主体的に学ばせるための学生ガイド、ファシリテーションの工夫、振り返りシートの工夫、授業運営のノウハウなどのQ&Aになるのではないか。
- ・ アンケート集計を踏まえて委員がQ&Aを作成 10月
- ・ アンケートを踏まえたQ&Aを大学へ案内（発送） 11月

5. 次回の委員会

9月20日～30日頃に オンライン開催

そのため、事務局で以下を作成して各委員にお送りする。

- ① 「ICT活用による多職種連携授業の実践紹介ビデオ」に関する視聴アンケート（修正案）
- ② 「ICT活用による多職種連携授業の実践紹介ビデオ」YouTube 視聴状況
- ③ 第2回医療系分野フォーラム実験小委員会日程調整表